

# 厚木基地

## の状況と今後の動き

長年にわたって、わたしたちは、厚木基地の航空機騒音の被害に悩まされています。昨年、厚木基地をめぐることは、次期固定翼哨戒機(XP-1)の性能評価のための乗り入れがありました。また、横須賀基地では、厚木基地に飛来する艦載機を搭載する空母が、キティホークから原子力空母ジョージ・ワシントンへ交替しました。現在、国は2014(平成26)年をめどに厚木基地の艦載機の移駐を進めています。今年(2014)において、艦載機の訓練施設の候補地選定を目標としています。過去には大黒神島(広島県)や姫小島(山口県)など、現在は馬毛島(鹿児島県)やそのほかの場所などが候補地として取り上げられています。今号では、厚木基地をめぐる昨年から今後の動きを、市の航空機騒音の解決に向けた取り組みなどと併せてお知らせします。

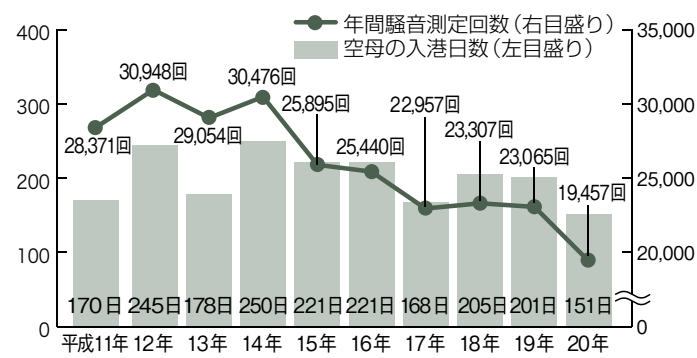
※2006(平成18)年5月、日米両国政府は空母艦載機のほとんどもを2014(平成26)年までに厚木基地から岩国飛行場へ移駐することに合意しています。

### 厚木基地周辺の航空機騒音の状況

厚木基地周辺の航空機騒音の主な原因は、横須賀を事実上の母港とする空母の艦載機によるものです。空母が横須賀に入港している間は、艦載機が厚木基地を拠点に飛行するため、市民に甚大な騒音被害をもたらします。

空母の交替に関連して入港日数が短かった昨年は、年間騒音測定回数も過去10年で最も少なくなりました(下グラフ参照)。また、NLP(夜間連続離着陸訓練)は昨年、すべて硫黄島で実施され、厚木基地では実施されませんでした。

### 空母の入港日数と騒音測定回数



※騒音測定回数：厚木基地滑走路から北約1km地点の住宅地で、70dB(デシベル)以上が5秒以上継続した回数。

### 厚木基地に関する主な要請活動

市では、基地のさまざまな問題に対して、適切な機会をとらえて要請活動などを実施しています。市民生活に影響を及ぼす航空機騒音問題、事件・事故などについては、県や基地周辺市などと連携しながら要請活動をしています。

また、市民、議会、行政の代表者で構成する大和市長地対策協議会(会長：大木哲大和市長)では、基地にかかわる諸問題の調査研究を行うとともに、解決に向け要請活動をしています(昨年の主な要請活動は3ページ参照)。

### 空母と艦載機の動向

昨年9月25日、空母キティホークの後継艦として、空母ジョージ・ワシントンが横須賀に入港し、その6日後に出港。11月21日に再び入港し、ほとんどの空母艦載機が厚木基地に飛来しました。

厚木基地の航空機騒音は空母の動向と深くかかわっていることから、大和市長地対策協議会では、

1月27日に空母ジョージ・ワシントンを視察しました。その際、米海軍第5空母打撃群司令官のケビン・M・ドネガン少将らは、空母が交替しても飛行



米空母ジョージ・ワシントンを視察(1月27日)

部隊の規模や運用に変更はないと述べました。また、大和市の騒音被害の状況は十分に承知しており、できる限りその軽減に努めるよう今後も努力していきたいとの考えを示しました。

### 次期固定翼哨戒機(XP-1)の性能評価のための乗り入れ

現在、XP-1の性能評価が厚木基地で実施されています。

市では、XP-1の性能評価のための乗り入れに伴い騒音測定など状況把握に努めており、市民の負担増加とならないよう取り組みを続けています。



次期固定翼哨戒機(XP-1)

### 在日米軍再編の実施に向けた動き

「再編実施のための日米のロードマップ」の中で、米空母艦載機を厚木飛行場から移駐するとしている山口県の岩国飛行場では、滑走路沖合移設事業が進められ、埋め立てはほぼ完了していると報じられています。

そして、日米間の合意事項では、恒常的空母艦載機離発着訓練施設(米側が暫定的な施設と位置づけている硫黄島に代わる恒常的な施設の候補地を選定する目標時期を今年7月、またはその後のできるだけ早い時期としています)。



岩国飛行場(山口県・平成20年7月撮影)

先ごろ、米国では政権交代がありました。厚木基地の動向は、国内外の情勢と深い関係にあることから、さまざまな動きを注視していく必要があります。厚木基地の航空機騒音をはじめとした市民への負担が軽減されるよう、市では、県や基地周辺市とも連携しながら、引き続き国や米軍に強力に働きかけ、基地対策に取り組んでいきます。

問い合わせは、市役所基地対策課 基地対策担当 ☎(260)5310へ。

馬毛島(鹿児島県)  
(提供：中国新聞社・平成19年12月19日掲載)



大黒神島(広島県)